

### <概要>

- 595号線（I-595）の再整備及び拡幅、側道改良、I-75/Sawgrass Expressway – State Route 7 間のインターチェンジ整備（全長10.5マイル）を実施する事業。再整備に関する設計・建設・資金調達・運営・保守を民間事業者が実施する。
- アメリカの道路PPP事業で初めてアベイラビリティ・ペイメント方式が採用されたもの。通行料金は公共が設定して徴収する。公共は契約に基づき民間事業者の業務の履行状況に応じて報酬を支払う。

### ○基礎情報

- ・当事者  
公共側：Florida Department of Transportation  
民間側：I-595 Express, LLC (ACS Infrastructure Development group)
- ・総事業費：1,834 million US\$
- ・事業方式：DBFOM（設計・建設・資金調達・運営・管理）方式
- ・契約期間：35年（2009年契約、建設5年+運営・管理30年）
- ・背景  
I-595の交通容量拡大が必要となり、無料の「一般レーン」に加え3車線の「有料・管理レーン（交通量に応じて通行量を変動させるレーン）」をPPP手法で整備したもの。



（出典）U.S. Department of Transportation 'Report on Highway Public-Private Partnership Concessions in the United States' (2016)

### ○アベイラビリティ・ペイメント方式の特徴

- ・アベイラビリティ・ペイメントは供用不能状態（Unavailability）と運営・管理違反（Q&M Violation）による調整によって減額される。供用不能状態による調整では、通行止めの範囲、時間帯の優先度、区間の重み等が考慮される一方、運営・管理違反では、性能規定化された各項目のうち未達のものに対し、違反の影響度に応じて調整額がクラス分けされ減額。
- ・運営事業者の収入は建設完工時の686百万ドルに加え、運営期間では最大65.9万ドル／年であったが、前記の調整減額を経て額が決定される。各要求水準や修復期間、業務パフォーマンスの性能規定が細かく数値化されている例。

### <概要>

- 3年間で558基の橋梁の架け替えを実施する事業。架け替えに関する設計・建設・資金調達・保守を民間事業者が実施する。通行料は無料で、事業者は業績に応じてマイルストーン・ペイメント、アベイラビリティ・ペイメントを支払う。
- 多数の大きさや特徴が似た橋梁の修復事業をひとつにまとめてロットを大きくすることにより、様々な企業が参加できる規模の案件化に成功したほか、設計・建設業務と既成建材の利用を実現し、効率化と迅速化、コスト削減を図った。

### ○基礎情報

#### ・当事者

公共側：Pennsylvania Department of Transportation (Penn DOT)

民間側：Plenary Walsh Keystone Partners

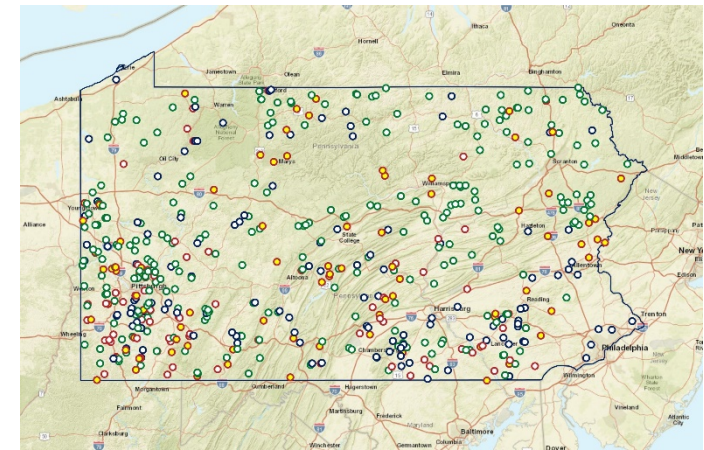
・総事業費：1,119 million US\$

・事業方式：DBFM（設計・建設・資金調達・管理）方式

・契約期間：28年（2015年契約、建設3年+管理25年）

#### ・背景

ペンシルベニア州では3,500近くの修復が必要な橋梁がある一方、財源不足を理由に対策が進んでいなかったことから、民間の資金・ノウハウを活用するPPP手法で整備したもの。



（出典）Penn DOT, P3 Rapid Bridge Replacement Project Map

### ○アベイラビリティ・ペイメント方式の特徴と効果

- ・契約締結時に、モビリゼーション・ペイメント（支度金）として1,500万ドルを支払い、業務開始許可の1年後から半年に一度、6分割にてマイルストーン・ペイメント（最大2億1,000万ドル）を支払う。設計・建設部分については実費が支払われるが、基準違反と交通非稼働時間に基づき減額がなされる。
- ・一方、アベイラビリティ・ペイメントとしては、全体のうち50基の建設が完成した時点で一時金として3,580万ドルが支払われるほか、完成した橋梁の数や減額要因などを考慮しつつ、毎月分割で約6,000万ドル/年が支払われる。
- ・同プロジェクトの影響から、後に同州ノースハンプトン郡で33基の橋梁修復DBFM（建設4年+管理10年）も立ち上げられた。

## 3 学校PPPプロジェクト（独フランクフルト市）

（出典：ドイツ連邦政府財務省）

### <概要>

- ヘッセン州フランクフルト市において、既に運営が行われている学校3校及び教育文化センターについて、一括して民間企業に委託する事業。再整備に関する設計・建設のほか、資金調達・運営・維持管理を民間事業者が実施する。
- 当該PPPについては施設の利用やそれに関するサービス等のハード面の整備・運営をアベイラビリティ・ペイメント方式で委託しており、教育内容や教師の派遣など直接教育に関わるソフト面については事業範囲に含まれていない。

### ○基礎情報

#### ・当事者

公共側：City of Frankfurt (The state of Hesse)

民間側：Hochtief PPP Solutions / Construction / Facility Management

#### ・対象施設：Educational and Cultural Centre

Comprehensive School, Secondary School and Vocational School（計3校）

#### ・総事業費：€248 million

#### ・事業内容：設計・建設・改修・運営・維持管理・資金調達

#### ・契約期間：22年（2007年契約、建設2年+管理等20年）

#### ・背景

ドイツでは市の責任で中学・高校等の段階に応じた学校設備を整備することが求められる一方、フランクフルト市のあるヘッセン州では、州の役割としてカリキュラムの策定を担当するほか、自らの支出に基づき教師を割り当てるといった自治を行っている。連邦政府が市による施設整備について追加の補助金を州や市に支払う仕組みがPPPの長期融資スキームに含まれている。

### ○アベイラビリティ・ペイメント方式の特徴と効果

- ・支払いについては、建物が運営開始された時点から、建物及びサービスのアベイラビリティに応じて月額払いがなされる。民間事業者は故障等が発生した場合、SLAs (Service Level Agreements) に基づき回復することが求められる。なお、月額払いについては、設備の水準を満たしていない場合やサービスの質が低い場合の減額措置も含まれている。
- ・PPPにより従来の公共調達事業と比較し建設が早期に進み、かつ支出も予算内に収まったほか、性能発注として民間のノウハウを活用しつつ、アベイラビリティ・ペイメント方式を導入したことにより、サービスの質が非常に高水準となった。



Educational and Cultural Centre